



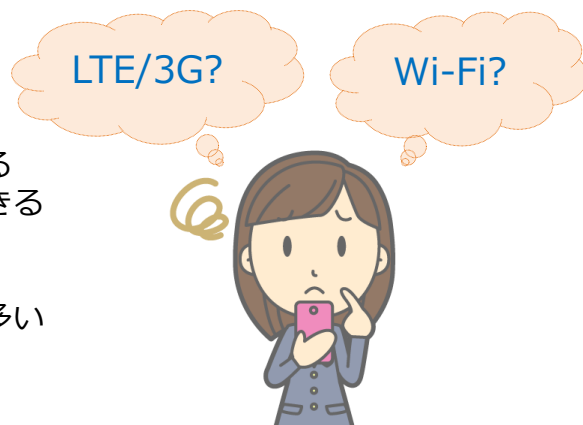
スマホやタブレット、ゲーム機、音楽プレーヤー等はWi-Fi（無線LAN）を利用してインターネットに接続することができます。公衆の場所でもWi-Fiスポット（アクセスポイント）が設置されていて、簡単に利用できますが、便利な反面に危険もありますので、安全に利用する方法について学びましょう。

### Wi-Fiとは？

無線LANの種類のひとつで、小範囲の電波を使って高速のデータ通信ができます。スマホやゲーム機など、Wi-Fiが使える機器はWi-Fiスポット（Wi-Fiルーター）と通信することで携帯電話回線を利用せずにインターネットに接続することができますようになります。

#### ■携帯電話回線（LTE/3Gなど）とWiFiの違い

- 携帯電話回線（LTE/3Gなど）
  - ・電波の届く範囲が広い
  - ・通信量に制限があり、使用にはお金がかかる
  - ・音声通話とデータ通信（メールなど）ができる
- Wi-Fi
  - ・電波の届く範囲が狭い（数十メートル）
  - ・通信量に制限がない、通信は無料の場合が多い
  - ・データ通信に限定される



### 公衆Wi-Fiの利便性と潜む危険

最近、増加している無料のWi-Fiスポットですが、知らないうちに個人情報の流出や通信の盗聴・傍受などをされる危険性があることを知っていますか？

#### 【公衆Wi-Fiスポットの特徴】

誰でも無料で自由に使えて通信量に制限が無い。（パケット代の節約）

↳ 同じWi-Fiスポットに接続した悪意を持った人からスマホなどの大切な情報を盗まれる危険性がある。

通信内容が暗号化されていない、または暗号の強度が弱いものがある。

↳ 盗聴・傍受されて大切な個人情報などを盗まれる危険性がある。

**公衆のWi-Fiスポットは常に危険を伴うことを理解することが重要です。自分の判断で接続せずに利用する前に大人と相談することを忘れないでください。**

## WiFiを安全に利用するには

Wi-Fiの利用に関しては、ある程度の知識が必要です。特に公衆Wi-Fiスポットは、危険性を理解したうえで十分注意をして利用してください。

### ■安全と判断できる場所で利用する

家庭内など安全だと判断できる場所で利用しましょう。

### ■重要な通信はしない

クレジットカードを利用するサイトやオークションサイトなどは利用してはいけません。通信が傍受・解読されてパスワード等が盗まれる危険性があります。

### ■Wi-Fi機能は使う時だけONにする

常にONにしておくと悪意のあるWi-Fiスポットに自動で接続してしまう可能性もあり危険です。普段はWi-Fi機能を使えないようにしましょう。

### ■接続先を確かめる

様々な場所に設置されているWi-Fiスポットは、すべてが安全であるとは言えません。見たことがあるWi-Fiスポット名でも悪意を持って作られた名称の可能性があるため、簡単に信用せずに大人と相談して利用するようにしましょう

Wi-Fiスポットの利用は必ずしも安全とは限りません。特に公衆Wi-Fiスポットでは、絶対に重要な情報のやり取りはしないでください。また、悪意のあるアプリを仕込まれて情報を盗まれる可能性もあるためWi-Fi用フィルタリングやウイルス対策を確実に実施してください。



## 考えてみましょう

### ■何がいけないか、考えてみましょう。

①Wi-Fi機能を切り替えるのが面倒なので常にONにして公衆Wi-Fiスポットを利用している。

②見知らぬSSIDの公衆Wi-Fiスポットに接続してオークションサイトを利用した。

③SSIDを確認せずにパスワード無しの公衆Wi-Fiスポットを利用している。

